

【対・話・集・会】



どうなる？ どうする！

市民自治と社会教育

昨年来、文部科学省では、博物館・図書館・公民館などの社会教育施設について、教育委員会の所管から首長部局へ移管することを可能とする特例措置の検討が進められています。また「総合的な教育改革を推進するための機能強化」として、従来の生涯学習局（6課1参事官）を総合教育政策局（7課）に改める組織改編も検討されています。

そこには、従来の社会教育課・青少年教育課をなくし、新たに地域学習推進課が設けられるなど、これまでの社会教育行政を大きく変質させる内容も含まれています。

そこで、次のような問題意識に基づき、下記のように対話集会を開催します。

- 1) 「社会教育」が消え、首長部局の影響力を強めようとする文部行政の真意はどこにあるのか。
- 2) 地域においては市民型社会教育の必要性はますます強まっている。これを土台とした新たな運動は、どのようにすれば可能か。
- 3) 公共施設の再編等の名のもとに、地域の歴史・文化、市民の主体的な学習への軽視が強まっている。これを跳ね返す論理をどう作るか。

記

日 時: 2018年11月25日(日)午後1時30分～5時(午後1時開場)

会 場: 町田市立国際版画美術館 講堂(裏面地図参照)

〒194-0013 町田市原町田4-28-1 TEL042(726)2771

内 容: 基調講演 「市民の社会教育・生涯学習を求めて」

一文科省の組織改編にどう対応するか」

寺脇 研 氏(元文部官僚・京都造形芸術大学教授)

シンポジウムと対話

荒井 容子 氏(法政大学教授・社会教育学)

寺脇 研 氏(基調講演講師)

山口源治郎 氏(東京学芸大学教授・図書館情報学)

藺田 碩哉 氏(まちだ未来の会代表・コーディネーター)

<わいわいタイム> シンポジストを囲んで

共 催: (公財)社会教育協会、三多摩図書館研究所、市民のミカタ(多摩市)、多摩市の社会教育を考える会、まちだ自治研究センター、町田の図書館活動をすすめる会、まちだ未来の会(五十音順)

参 加: 資料代500円、当日直接会場へ(先着順)。

連絡先: まちだ未来の会

TEL 090(4703)8878 藺田碩哉 〒195-0064 町田市小野路町5336-7